

小田原市公設水産地方卸売市場事業経営戦略（案）に対する市民意見の募集結果について

1 意見募集の概要

政策等の題名	小田原市公設水産地方卸売市場事業経営戦略（案）
政策等の案の公表の日	令和3年3月15日（月）
意見提出期間	令和3年3月15日（月）から 令和3年4月13日（火）まで
市民への周知方法	意見募集要項の配布（市内公共施設、ホームページ）

2 結果の概要

提出された意見は、次のとおりです。

意見数（意見提出者数）	7件（2人）
インターネット	1人
ファクシミリ	1人
郵送	0人
直接持参	0人
無効な意見提出	0人

3 提出意見の内容

パブリックコメントで提出された意見の内容とそれに対する市の考え方は、次のとおりです。

〈総括表〉

区分	意見の考慮の結果	件数
A	意見を踏まえ、政策等に反映したもの	0
B	意見の趣旨が既に政策等に反映されているもの	2
C	今後の検討のために参考とするもの	3
D	その他（質問など）	2

〈具体的な内容〉

	意見の内容（要旨）	区分	市の考え方
1	水産関係者及び市民・観光客・釣り人が共存共栄できる漁港づくりを目指すべきである。	D	<p>本経営戦略は、総務省要請に基づく公設地方卸売市場事業に関する経営計画になります。</p> <p>釣りを含む小田原漁港全体の整備計画に関するご意見については、今後、漁港管理者である神奈川県とも調整しながら、検討してまいりたいと考えております。</p>
2	経営改善の手法として建物の整備だけではなく、既存施設を活用した、運営方針の転換を実施すべきではないか。	B	<p>水産市場施設は、老朽化や耐震性能の不足、衛生管理機能の欠如など様々な課題を抱えています。</p> <p>本経営戦略では、7 ページ 3. 経営の基本方針の中で、「地域が潤い、豊かになる、にぎわい水産市場」を今後の整備のあり方のコンセプトとして掲げております。</p> <p>また、13 ページ②収支計画のうち財源については、本市場の S W O T 分析を踏まえた 13 の行動計画を位置付けており、この新たな行動計画については既存施設も活用しながら、今後、水産関係者とともに取り組んでまいりたいと考えております。</p>

3	<p>小田原漁港新港西側エリアに「釣り堀公園」の設置を提案するとともに、有識者とも意見交換し、より良い公園計画のための助言を頂いたらどうか。</p> <p>また、市民ボランティアで釣り指導員を配置し、マナー向上に係るルール作りをしたらどうか。</p>	D	<p>本経営戦略は、総務省要請に基づく公設地方卸売市場事業に関する経営計画になります。</p> <p>釣りを含む小田原漁港全体の整備計画に関するご意見については、今後、漁港管理者である神奈川県とも調整しながら、検討してまいりたいと考えております。</p>
<p>以降 4 から 7 の意見の内容（要旨）に対する市の考え方については、再整備事業に関する考え方を予めご説明させていただきます。</p>		<p>水産市場施設再整備検討事業については、本経営戦略 6 ページにある（3）施設の見通しのとおり、平成 27 年度に小田原市卸売市場審議会において、公設水産地方卸売市場の今後のあり方検討を実施し、市が継続して開設者となり再整備することが望ましいとの答申をいただいております。</p> <p>平成 28 年度から水産関係者とともに再整備事業の検討に入っており、既存施設の維持更新計画とともに、再整備に係る仮設市場候補地をはじめ、期間中の運営方法、事業費・事業スケジュールを踏まえた投資・財政計画を立案しております。現状では、具体的な施設の事業内容や事業手法の検討までには至っておりません。</p> <p>以上の前提に基づき、回答をさせていただきます。</p>	

	意見の内容（要旨）	区分	市の考え方
4	市場施設の再整備にあたっては、既存市場機能に加え、他の機能（T O T O C O小田原、海の生業を学ぶことができる展示・体験施設、家族連れで遊べるキッズスペース、早川駅臨時観光案内所の機能移転など）との複合化によって、漁港エリア全体の活性化や、周辺エリアへの回遊性向上を図ることを検討すると良い。	C	今後の検討にあたり、ご意見を参考とさせていただきます。 なお、小田原漁港エリア全体の活性化・回遊性の向上については、JR 早川駅から至近である立地を生かし、水産市場を中心とした本港エリアと漁港の駅T O T O C O小田原が立地する西側エリアとの回遊性向上を図るため、案内看板の設置をはじめ、漁港周辺ガイドブックの作成や、地元飲食店等で組織する小田原地魚大作戦協議会と連携する等の取組を継続してまいります。
5	津波ハザードマップ上、再整備エリアは5 m以上の浸水も想定されていることから、漁港関係者や観光客の一時避難施設としての機能も検討すると良い。	C	今後の検討にあたり、ご意見を参考とさせていただきます。
6	従来型の整備手法だけでなく、公民連携手法等の導入により、設計から建設、維持管理・運営に係るコスト削減について検討すると良い。	B	本経営戦略 14 ページ（3）①今後の投資についての考え方・検討状況に係る民間活用については、再整備事業における検討の際、指定管理者制度やP P P・P F I等の検討を進めるとして、位置付けております。

7	<p>適正規模の検討や事業手法の工夫等によって施設整備・運営の効率化を図り、市場関係事業者が負担する施設使用料への悪影響は押さえることが小田原の水産業振興のためには必要ではないか。</p>	C	<p>今後の検討にあたり、ご意見を参考とさせていただきます。</p>